

群青



八雲町立八雲中学校

令和5年度

2月号

★教育目標 郷土を愛し、未来を築く人間の育成
・健康な生徒(体) ・創造する生徒(知)
・実行する生徒(意) ・感動する生徒(徳・情)

★重点教育目標

「自ら学び鍛え 良さを伸ばし合える生徒」の育成

「心と体の相談室」～保健室の活用～

校長 柴野 貴史

今年の冬は暖冬の影響か、降雪量が少なく過ごしやすかったですが、寒暖の差が激しいため、身体的にも大変だったのではないのでしょうか。健康で生き生きと生活するためには、大人はもとより生徒たちもしっかり考えていかなければならないことです。

さて、生徒たちの健康な身体づくりには、虫歯予防や早寝早起き朝ごはんなどの生活習慣が大きく影響します。このことは、学校と家庭が連携して取り組んでいかなければなりません。

学校には、養護教諭が常駐している保健室があります。保健室といえば、ケガをしたときや具合が悪くなったときに利用する場所というイメージがありますが、大きな役割として次の5点があげられます。

- ①保健管理：担任からの出席確認・健康観察を通して、毎日、全校生徒の健康管理を行っています。また、身体計測や健康観察などで生徒の成長や病気のチェックをしています。
- ②保健指導：養護教諭が安全管理なども含め指導します。生徒の心や体について指導、ケガや病気の予防的な指導を行っています。
- ③健康相談：担任や保護者と情報交換をしたり、生徒が相談に来たりします。体の健康だけでなく心の悩みについても相談できる場所です。
- ④情報発信：「保健だより」を通して、生徒の心と体に関する情報を発信します。インフルエンザなどの感染症がはやる時には、その予防についてお知らせします。保健室では生徒たちが見て学ぶことのできる体や病気予防に関する情報を掲示しています。
- ⑤組織的な活動：年に数回、近隣の養護教諭と研修会を開催し、心と体の健康について話し合い、効果的な指導や情報発信などについて、どのように行っていくかなどを考えます。

このように、保健室は、生徒が元気に生きるための知恵を学んだり、心を少し休めたりする所です。保護者の皆様におかれましては、お子さんの健康状態で気になることがありましたら、ぜひ、養護教諭にご相談ください。学校は、担任はもちろんのこと、全職員で生徒が健康で楽しく活動できるよう見守っています。